

広報

おおよす

2019

5

No.172



演舞で広がる笑顔の輪

NEXT きらめき★

愛媛県立八幡浜工業高等学校機械土木研究部（左から）

中川 友紀子^{ゆきこ}さん（八幡浜市） 三宅 風稀^{ふうき}さん（徳森）

和田 大世^{たいせい}さん（五十崎） 金子 亮太^{りょうた}さん（新谷）

高校生ものづくりコンテスト全国大会

測量部門第3位(中川・三宅・和田)、旋盤作業部門出場(金子)



八幡浜工業高等学校3年（受賞時）の4人は、昨年11月18日（日）に東海4県で開催された「第18回高校生ものづくりコンテスト全国大会」に出場しました。

三宅さん、和田さん、中川さんの3人は、測量部門に出場し、第3位の成績を収めました。三宅さんは、「全国大会優勝を目標に練習してきました。3位という結果は、うれしい半面で悔しい気持ちもあります。後輩には、来年こそは全国優勝を果たしてほしいです」と話していました。

金子さんが出場した旋盤作業部門では、旋盤で鉄材料から部品を削り出し、その精度の高さや時間などで競われます。金子さんは、「県大会準優勝の悔しさをバネに練習に取り組んだ結果、四国大会では優勝することができました。3年間、部活を続けてきて良かったと感じました」と喜びを語りました。

卒業後、4人は進学や就職など違った道を歩みます。和田さんは「全国大会出場の経験を生かし、これからも技術を磨きたい」と今後の抱負を述べました。

5月の納税など

納期限は5月31日（金）です。

税 別	5月	6月	7月	8月
市 県 民 税		1期		2期
固 定 資 産 税			2期	
軽 自 動 車 税	1期			
国 民 健 康 保 険 税			1期	2期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。
今年度から市県民税と固定資産税が4期納付になります。

現在の大洲

人の動き（先月比）

人 口 43,120人（-202）
男 20,572人（-96）
女 22,548人（-106）
世帯数 19,835世帯（+5）

交通事故（昨年同期）

件 数 12件（27件）
死 者 0人（0人）
負傷者 13人（36人）

（2019年3月末現在）

CONTENTS 目次

- 2 ページ NEXTきらめき・今月の表紙
- 3 ページ～ （特集）地域に新しい活力を
- 6 ページ～ おおずニュース
- 12 ページ シリーズ
- 13 ページ～ おしらせピックアップ
- 22 ページ～ 情報ひろば
- 24 ページ 集まれO級若モン
- 25 ページ～ 図書館・保健センター・各種相談ガイド
- 28 ページ がんばるひと
（The ZEN 如法寺もりあげ隊）

今月の表紙



沖縄県糸満市の西崎^{にしき}青年会による伝統芸能エイサーの披露会が3月28日（木）、市内5カ所で行われました。西崎青年会は、被災地を中心に日本各地へ遠征し、エイサーを披露しています。

清流の里ひじかわに集まった観客は、太鼓の音に合わせて手拍子をするなど、エイサーを見て楽しんでいました。

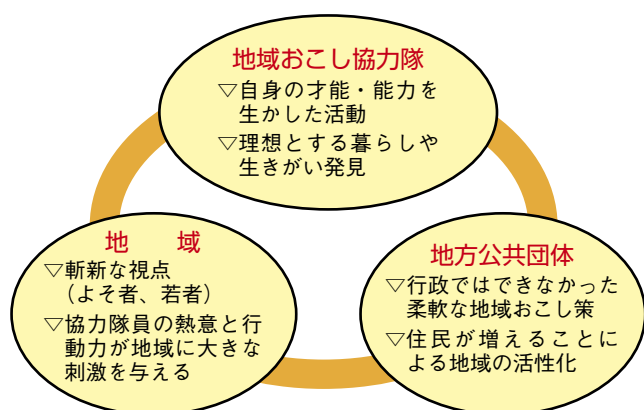
“地域に新しい活力を”

～大洲市地域おこし協力隊～



地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、地域力の維持・強化を図るため、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方で都市住民を受け入れ、観光振興や農林漁業の応援、住民の生活支援など各種地域協力活動に従事してもらいながら、受け入れ地域への定住・定着を図る制度です。



（総務省ホームページより）

地域おこし協力隊の受け入れの利点として、その地域に新しい視点が入ること、大きな刺激を与えられることが挙げられます。また、隊員にとっても、培ってきた能力を生かし、これまでとは違った生きがいの発見につなげることができます。

現在、市内には4人の地域おこし協力隊員が活動しています。市外・県外から地域のためにやってきた協力隊が地域の起爆剤、そして潤滑剤となり活躍をしています。

今回、それぞれの地域で活動している協力隊の取り組みなどについて紹介します。



中野

よしまさ
芳将さん

活動地域：肱川地域 就任時期：平成30年4月～

隊員としての活動は、いろいろな所に顔を出し、今の肱川町を知ることからスタートしました。就任当時は、できることをひたすら探して回る毎日でした。

平成30年7月豪雨では、肱川町でも広範囲で被害に遭いました。発災後には、炊き出し、防疫活動などを手伝いました。

そのような状況の中、「子どもたちに思い出を作ってあげたい」「被災したけど肱川町が頑張っている姿を見せたい」といった思いから、「ヒジカワノヨイチ」を開催することが決まりました。祭り

には、多くの人に来てもらい、記憶に残る感動の夜市になったと思います。

冬には、特産品開発も始まりました。レストラン経営で培った知識を生かし、地元の食材を用いた料理を考案しています。また、特産品であるシイタケ作りにも取り組み、PR活動や原木づくりなどを経験することができました。

将来的には、私と同じような子育て世代を増やしたいです。地域で安心して楽しく子育てができることは、肱川町の発展にもつながっていくと思います。



小泉

しんじ
信二さん

活動地域：河辺地域 就任時期：平成29年4月～

就任して2年目を迎えた平成30年度は、地域おこし団体「河辺の未来を考える会」の会員とともに、特産品の開発や生産、販促活動を行いました。

そのひとつである「あまごめしの素」は、お土産を作ることをコンセプトに、家庭でもあまごめしを楽しめるよう開発しました。レトルト処理により骨と身をほぐす必要がなく、常温での長期保存が可能な商品です。昨年8月には、大洲ええモンセクションに認定され、9月から店頭などでの販売を開始しています。

交流人口の増加に向けた活動も行い、外国人観光客のために英語版のパンフレットや、QRコードを用いた観光地案内などを制作しました。また、愛媛大学付属小学校の児童を河辺に招き、河辺の子どもたちとの交流イベントも開催しました。

今後は、河辺ふるさとの宿を中心とした地域おこしをしていくつもりです。河辺の自然を生かした河辺らしい新たなツアーメニューを開発し、観光客の誘致を図りたいです。

地域おこし協力隊の活動報告会

大洲市で活動する地域おこし協力隊の活動報告会が、3月15日(金)、市役所大ホールで開かれました。

4人の隊員は、平成30年度における活動について、スライドを用いて報告しました。会場には、関係者や地域の住民ら約50人が集まり、隊員の活動内容について、熱心に耳を傾けていました。



SNSを用いた情報発信

大洲市地域おこし協力隊では、SNSを活用し、活動内容や地域の情報を発信しています。隊員活動をぜひご覧いただき、「いいね！」してみてください。



Facebook



Instagram



鶴ヶ野優希さん

活動地域：市全域 就任時期：平成30年11月～

隊員に就任する前は、旅行会社でカウンター業務や、ウエディング会社で海外挙式の手配などをしていました。

その後、地方創生に関わることをしたい、魅力的な観光地をたくさんの人に知ってほしいなどの思いで、地域おこし協力隊への挑戦を決意しました。大洲市の募集チラシが目に入り、昨年4月に大洲市を訪れました。多くの人と話した結果、大洲市の魅力に引かれ、ここに着任することを決めました。

大洲市には、歴史ある情緒豊かな町並みが多くあります。現在は、いろいろな所を巡り、客観的な視点から大洲市の魅力を発掘しています。これから、もっと多くの人と話をし、大洲のことを知りたいです。

今後は、案内人の研修にも参加し、大洲の魅力をうまく説明できるようにもなりたいです。また、前職の経験を生かし、旅行業への登録や、旅行商品の開発にも力を入れたいです。



井上陽祐さん

活動地域：市全域 就任時期：平成29年5月～

隊員としての主な活動は、肱南エリアの町家保全や、外国人観光客の受け入れ態勢の構築、インバウンド対策などがあります。

肱南地区にある古民家は、地主が県外にいることも多く、空き家となり老朽化が進んでいるものが多く存在します。昨年設立したNPO法人では、そのような古民家の清掃や維持管理を行い、活用に向けた活動を行っています。

海外へのPR活動として、SNSを通じておおず浪漫祭のレトロウエディングに外国人カップルを誘致し話題を集めました。また、

スペイン最大の日本旅行サイトへ大洲市を掲載するよう依頼したり、海外の旅行会社への商談会に参加し、大洲を紹介したりしました。

今後、新たに設立されたDMO「キタ・マネジメント」の一員として、本格的に空き家や古民家活用を実施し、若い人の雇用の場を作りたいと考えています。隊員として最後の年であるため、インバウンド誘客や案内などの活動を仕上げる、最終的に大洲に定住できるようにしたいです。

地域活性化のために

今や、全国の地方自治体で活動する「地域おこし協力隊」ですが、総務省によって制度化されたのは今から10年前になります。平成30年度には、1061団体5359人の隊員が活動を行っています。その隊員数は毎年増加しています。

大洲市の地域おこし協力隊4人は、それぞれの地域で独自の活動を行っています。任務は、隊員によって異なりますが、4人とも地域活性化のために、創意工夫して活動に取り組んでいます。

地域活性化を成し遂げるには、隊員が地域住民と共に協力し、活動に取り組むことが重要となります。若い人が集まり活力ある地域にするためには、どうすればいいのか――。隊員の活動は、こうした大洲市の将来を考えるいい機会になると思います。

私たちの暮らす大洲には、長い歴史のなかで継承されてきた伝統や文化があり、また、山・川・海のような豊かな自然も存在します。今後も、地域おこし協力隊の活動と併せて、大洲市の多くの魅力を紹介していきます。